

〔全体計画〕

小学部第*学年 国語科学習指導案

日時	令和3年*月*日（*）9:30～10:15		場所	小学部*年*組教室
指導者	和知 重子（T 1）、** **（T 2）			
単元名	ばけたくんがへーんしん ～みじかなもののなまえ～			
本単元 目標	・日常生活に必要な身近な言葉が分かり、使うことができる。（知識及び技能）〈1段階〉 ・日常生活における人との関わりの中で自分の思いをもつことができる。（思考力、判断力、表現力等）〈1段階〉 ・言葉を使おうとする。（学びに向かう力、人間性等）〈1段階〉			
単 元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じている。	・教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしている。	・言葉で表すことやよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	
単元設 定の理 由	本グループは、男子6人で構成されている。周りの様子が気になると気持ちがそれたり、離席したりする児童が4人いるが、興味・関心のもてる活動に対しては意欲的に取り組むことができる。国語科の実態としては、読み聞かせに合わせて「とんとんとん。」など、簡単な言葉と動作で表現できる児童3人と、発声と動作で表現できる児童1人、簡単な動作の模倣ができる児童2人がある。言葉に関しては、身の回りの物のイラストを見ておおよそ答えることができる児童3人と、発語はないが三つのイラストから選ぶことができる児童1人、発語はないが二つのイラストから選ぶことができる児童2人がある。読み書きに関しては、イラストと文字を合わせたり、なぞり書きができたりする児童3人と、同じイラストを選んだりなぞり書きができたりする児童1人、点と点を結んだり自分の名前が分かたりする児童2名と実態は様々である。絵本の読み聞かせには興味を示すものの、理解している物の名前は限られており、語彙を広げることや増やすことが課題である。 そこで本単元では、特別支援学校学習指導要領小学部国語科の内容1段階〔思考力・判断力・表現力等〕A聞くこと・話すこと、ア「教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすること」に基づいている。児童の好きな絵本の読み聞かせをとおして、イラストと名称を結び付けながら語彙を増やす学習をねらいとし、絵本「ばけばけばけたくん」を取り入れることにした。「ばけばけばけたくん」は、いろいろなものを食べることで変身するため、いろいろな物の名前を覚えることができる絵本である。ばけたくんが食べるときに「ばけたくん、〇〇どうぞ。」「ばくばく。」など簡単な言葉を繰り返し言ったり、実際にばけたくんに食べさせたりすることができるように、口の部分を開けためくり式の絵本にすることで楽しみながら物の名前を学習できると考えた。また、学習する語彙を増やすために、物語には無いオリジナルの場面を作ることによって意欲的に学習できる教材ではないかと考える。 指導にあたっては、導入時に「あいうえおの歌」の動画を見ながら歌い、さ行の物の名前を歌で覚えるようにする。その後、歌の中に出てきたイラストや文字を意図的に選び、ばけたくんに食べさせることで、物語に出てくるもの以外の物の名前が覚えられるようにする。また、絵本に注目できるようにテレビを使い、画面を大きくして読み聞かせを行うようにする。ばけたくんが「もっと食べたいよ。」と依頼することから個別学習に移行していく。ストーリーのある状況を作り楽しく学ぶ中で、なぞり書きや文字チップ並べ、同じイラストを選んで貼るなど実態に応じた学習を展開していく。個別に語彙を増やせるような学習に取り組み、学習した物のイラストを食べさせることで、文字だけではなく食べ物の味覚や食感を想像したり、ばけたくんが喜ぶ様子を見たりすることで達成感を味わい、主体的に活動できるようにしたい。また、物語に出てくる物の名前を繰り返し聞いたり話したりすることで、言葉への興味・関心を広げ日常生活に必要な語彙を増やし言葉を使えるようにしたい。			

単元の指導計画 (6時間扱い) 本時は第5時	次	時	学習内容・活動	評価規準・評価方法
	1 「お話を聞こう」	1 「お話を聞こう」	・「ばけばけばけたくん」を聞き、食べた物に変身することを知る。	話を聞いて絵本に注目している。(思考・判断・表現)〔観察〕
		2 「お話を聞いてやってみよう」	・教師の動きを模倣して、ばけたくんに食べさせる動作をする。	教師の動きを模倣し、手を差し出そうとしている。(思考・判断・表現)〔観察・発表〕
		3 「言葉を言いながらやってみよう」	・「ばけたくん。どうぞ。」など簡単なセリフを言いながら食べさせる動作をする。	言葉を発しながら手を差し出し、物を食べさせようとしている。(思考・判断・表現)〔観察・発表〕
	2 「名前を覚えよう」	4 「ばけたくんに食べさせよう」	・ばけたくんに依頼された物の名前を書いたり並べたり貼ったりする。ばけたくんに食べさせる。	ばけたくんに依頼された物の名前を書いたり並べたり貼ったりしている。(思考・判断・表現)〔ワークシート・観察〕
		5 「ばけたくんに食べさせよう」(本時)	・依頼された物の名前を書いたり並べたり貼ったりする。ばけたくんに食べさせる。	依頼された物の名前を書いたり並べたり貼ったりして、ばけたくんに食べさせようとしている。(思考・判断・表現)〔ワークシート・観察〕
		6 「ばけたくんが食べた物を振り返ろう」	・ばけたくんに食べさせた物の言葉を発しながら振り返る。	ばけたくんに食べさせた物の言葉を発しながら振り返っている。(主体的に学習に取り組む態度)〔観察・発表〕

〔本時の指導〕

1 本時の目標

依頼された物の名前を書いたり文字チップを並べたり貼ったりして、ばけたくんに食べさせることができる。
【思考力、判断力、表現力等】

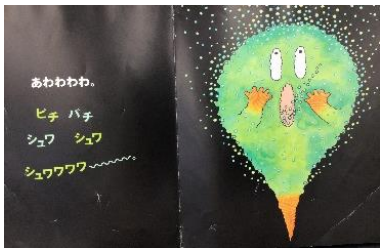
2 児童の実態及び個別目標

児童学年	児童の実態	個別目標	自立活動の目標
I・S *年	・読み聞かせに合わせ、発声と簡単な動作で表現ができる。 ・読みに関しては、身近な物のイラストに合わせて2・3文字程度の名前が書いてある単語を選ぶことができる。 ・書きに関しては、簡単な文字の筆順を番号で示すことで、なぞり書きができる。 ・周囲が気になり、離席したり落ち着かなくなったりする。	物の名前を筆順どおりになぞり、物の名前を言うことができる。 (思考力、判断力、表現力等)	自分の要求や困った際に教師に写真カードやジェスチャーを交えながら伝えることができる。
S・Ryo *年	・読み聞かせに合わせて、簡単な動作で表現することができる。 ・読みに関しては、言葉で指示された物を二つのイラストから選ぶことができる。 ・書きに関しては、点と点を結ぶことができる。	イラストの入った文字を選んで貼ったものをばけたくんに食べさせることができる。 (思考力、判断力、表現力等)	

	自分の名前の姓と名の文字チップを並べることができる。	力等)	
Y・T *年	- 読み聞かせに合わせて簡単な言葉を言うことができる。 - 言葉に関しては、教師の言葉を模倣することができる。 - 読みに関しては、身近な物のイラストに合わせて2・3文字程度の名前が書いてある単語を選ぶことができる。 - 書きに関しては、なぞり書きや簡単な文字の視写もできるようになってきた。 - 周囲が気になると椅子を動かしたり離席したりする。	物の名前を筆順どおりになぞり、なぞった文字を見ながら視写することができる。 (思考力、判断力、表現力等)	順番を待つ間、2分程度椅子に座って待つことができる。
O・R *年	- 読み聞かせに合わせて簡単な言葉を繰り返し言ったり動作で表現したりできる。 - 言葉に関しては、身の回りの物のイラストを見ておおよそ答えることができる。 - 読みに関しては、身近な物のイラストに合わせて2・3文字程度の名前が書いてある単語を選ぶことができる。 - 書きに関しては、簡単な文字のなぞり書きができる。	物の名前を読んだり、筆順どおりになぞったりすることができる。 (思考力、判断力、表現力等)	
O・T *年	- 読み聞かせに合わせて簡単な言葉を繰り返し言ったり動作で表現したりできる。 - 言葉に関しては、身の回りの物のイラストを見ておおよそ答えることができる。 - 読みに関しては、身近な物のイラストに合わせて2・3文字程度の名前が書いてある単語を選ぶことができる。 - 書きに関しては、簡単な文字のなぞり書きができる。 - 周囲が気になると質問したり離席したりする。	物の名前をはみださずになぞり、書いた文字を読むことができる。 (思考力、判断力、表現力等)	教師に「〇〇をしてください。」と伝えることができる。
S・Ryu *年	- 読み聞かせでは、絵本に注視することができるようになってきた。 - 読みに関しては、言葉で指示された物を2つのイラストから選ぶことができる。 - 書きに関しては、グループの友達の名前の文字を見て選ぶことができる。 - 周囲が気になり離席したり教室内を歩き回ったりする。	文字のおおまかな形をなぞったものをばけたくんに食べさせることができる。 (思考力、判断力、表現力等)	

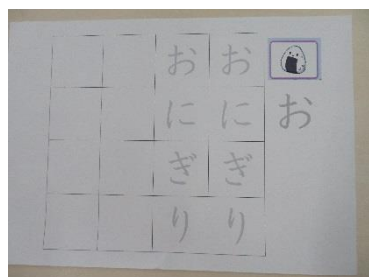
3 展開

※形態の表記は 全体：全、グループ：グ、個別：個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て（各Tの役割等）※評価は□で囲む
全 (15)	1 始まりの挨拶をする。 2 本時の学習内容を知る。 もののなまえをかいて、ばけたくんにたべさせよう 3 名前の確認をする。 4 「あいうえおのうた」を歌う。 	・授業の始まりが分かり、スムーズに着席できるように「あいうえおのうた」の動画を流しておく。 ・学習内容をホワイトボードに示し、本時の流れを確認することで、見通しをもって活動に取り組むことができるようにする。また、学習中の項目が分かるように矢印で示す。 ・活動毎にはなまるを貼り即時評価をすることで、意欲に繋げることができるようにする。 ・T 1は、児童の表情を観察し視線を合わせることができるよう正面に座って呼名する。 ・「あいうえおのうた」の「さ行」を動画で流し一緒に歌うことで、平仮名に興味をもち、言葉と事物が一致できるようにする。 ・T 2は、I・S が画面に注目できるように隣に座り、言葉をかけるようにする。 ・動画で確認後、一人ずつイラストに合わせて適切な文字を当てはめたり、言葉で指示された物をイラストから選んだりする活動を設定することで、物の名前の理解を深めることができるようにする。 ・T 2は、S・Ryu が指示されたものを選び取ることができるように「どっちかな。」と質問し一緒に貼るようにする。
全 (10)	5 「ばけばけばけたくん」の読み聞かせを聞く。  	・絵本に注目できるようにテレビを使い、画面を大きくして読み聞かせを行うようにする。 ・T 1は、絵本のストーリーに合わせて「ばけたくんどうぞ。」「ばくばくばく。」など簡単な台詞を言いながら行うことで、言葉のやりとりの面白さを味わうことができるようにする。 ・T 2は、I・S、Y・T、O・T、S・Ryu が絵本の画面に注目できるように「ばけたくんは、どこかな。」と体の向きや視線の方向が分かるような言葉をかける。 ・T 1は、食べさせる動作や「ねばねば。」「しゅわしゅわ。」などの言葉のリズムに合わせて動きを入れることで、食べ物や食感を想像できるようにする。ストーリーを楽しむように「次は何に変身するのか。」と期待感をもてるような言葉をかける。 ・T 2は、Y・T、S・Ryu が教師の模倣ができるように、隣で

個
(10)

6 個別学習をする。



手を添えたり大げさに動いたりする。

- ・読み聞かせ後にばけたくんが登場し「もっと食べたいよ。」と児童に食べ物を依頼することで、席を移動して個別学習に取り組むようにする。
- ・T 1 と T 2 の二つのグループを編成し学習に取り組むことで、落ち着いて課題に取り組むようにする。
- ・文字チップ並べや文字にイラストが入ったものと同じ文字を選んで貼る、なぞり書きや視写などができるよう 4 種類のワークシートを準備しておく。
- ・S・Ryo と S・Ryu は「あいうえおのうた」と結び付けて物の名前が覚えられるように、横書き用のワークシートを準備しておく。
- ・主体的に学習に取り組めるように、初めに課題を確認し、プリントの置く場所や終わったプリントの置く場所などを決めるようにする。また、課題が終わったら自分なりの表現で報告できるようにする。
- ・個別学習の終了時刻を伝え、見通しをもって学習に取り組めるようにする。
- ・T 1 は、I・S が集中して取り組めるように「これ何かな。書いてみよう。」と言葉をかける。一音ずつはっきり言えるように、文字を指さしながら一緒に読むようにする。

I・S：物の名前を筆順どおりになぞり、物の名前を言おうとしている。

(思考・判断・表現) [観察・ワークシート]

- ・T 1 は、S・Ryo が正しく並べることができるように一文字ずつ指をさし声に出すことで、文字の違いに気付くことができるようにする。
- ・T 1 は、Y・T が正しく書くことができるように「たて。く。るり。」と言いながら手を添え、筆順を伝えるようにする。

Y・T：物の名前を筆順どおりになぞり、なぞった文字を見ながら視写しようとしている。

(思考・判断・表現) [観察・ワークシート]

- ・T 2 は、O・R と O・T が文字と事物が一致できるように、イラストと文字を指さし確認してから書くよう促す。
- ・文字を読む活動を設定することで、発語を促し言葉と事物を結び付けることができるようにする。

O・R：物の名前を読んだり、筆順どおりになぞったりしている。

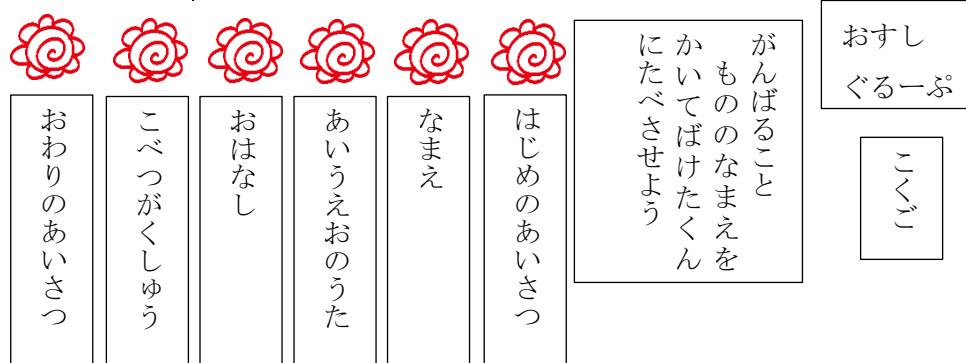
(思考・判断・表現) [観察・ワークシート]

O・T：物の名前をはみださずになぞり、書いた文字を読もうとしている。

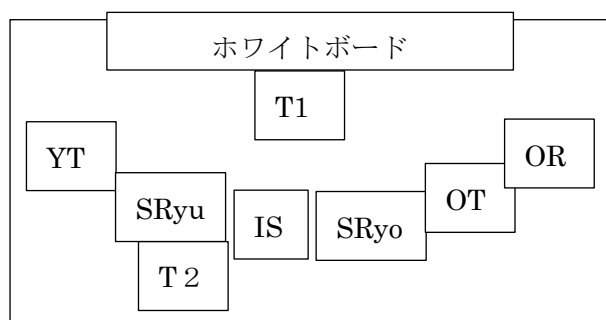
(思考・判断・表現) [観察・ワークシート]

全 (10)	7 学習したことを振り返り、 ばけたくんに食べさせる。  8 終わりの挨拶をする。	・ T 2 は、 S・Ryu が主体的に取り組めるように課題の配置や流れを固定し、自分でできるような仕組みを作っておく。 ・ 児童が学習した課題のファイルとイラストを持って最初の位置に戻るよう言葉をかけ、振り返りの学習とばけたくんに食べさせる活動を行うようにする。 ・ T 1 は、一人ずつ本時の学習内容を発表して具体的に称賛することで、児童が学習した文字の食べ物イラストをばけたくんに食べさせることができるようにする。 ・ T 2 は、 S・Ryu に「ばけたくんに〇〇たべさせようね。」と言葉をかけ、前に出るよう促す。 S・Ryu：イラストの入った文字を選んで貼ったものを、ばけたくんに食べさせようとしている。 (思考・判断・表現)〔観察・ワークシート〕 S・Ryu：文字のおおまかな形をなぞったものを、ばけたくんに食べさせようとしている。 (思考・判断・表現)〔観察・ワークシート〕 ・学習した物にばけたくんが変身することで、達成感を味わうことができるようにする。 依頼された物の名前をそれぞれの手段で書いたり文字を選んで貼ったりして、ばけたくんに食べさせている。(思考・判断・表現)〔観察・ワークシート〕 ・本時の学習内容にはなまるを貼り称賛することで、次時の意欲に繋げることができるようにする。
-------------------	--	---

【板書計画】



【座席配置図】 全体活動時



個別学習時

